

普及現地情報



発信年月日:令和8年(2026年)3月18日

所属名:甲賀農産普及課

番号:C25022

発信者名:竹若

ペレット牛糞堆肥製造施設始動!

去る2月25日、(有)成田牧場において、国内肥料資源活用総合支援事業(以下「事業」という)を活用した、ペレット牛糞堆肥の製造施設が完成しました。

(有)成田牧場では、過去に整備した牛糞堆肥製造プラントと堆肥舎で牛糞堆肥を生産していますが、乾燥しすぎているため散布の際の飛散が激しく、苦情により住宅地周辺等での散布ができませんでした。

そこで今年度、事業を活用し、新たに堆肥をペレット化する施設の整備に取り組みました。

ペレット堆肥は、①堆肥舎の牛糞堆肥を供給ホッパーに入れ、②篩器で大きな塊と粉をふるい分けて、③ペレット化に適した大きさの牛糞堆肥のみをペレットマシンでペレットに成型し、④ペレットを乾燥コンテナで一晩送風乾燥し、水分を調整する、という手順で、一日当たり6t程度製造できます。

出来上がったペレット堆肥は、不快な臭気がほとんどなく、散布も容易で、多くの水稻農家で利用されております。当課は引き続きペレット堆肥の安定生産と利用拡大に向けた支援を行っていきます。



↑ ペレット製造ライン全景

ほ場での散布の様子→

←ペレット堆肥を乾燥コンテナへ

